



藤田小学校だより

Touda elementary school times



学校教育評価アンケート結果概要
(令和2年12月実施分)

《号外》

令和3年1月22日
守口市立藤田小学校
校長 佐藤 裕宣

	児童アンケート結果 (低学年79名、中学年77名、高学年78名の回答)	低学年			中学年			高学年			全学年	
		そう思う	どちらか： そう思う	肯定的回答	そう思う	どちらか： そう思う	肯定的回答	そう思う	どちらか： そう思う	肯定的回答	肯定的回答	(前年数値)
1	学校へ行くのが楽しい。	77.2%	16.5%	93.7%	61.0%	29.9%	90.9%	61.5%	26.9%	88.5%	91.0%	91.2%
2	授業はわかりやすい。	53.2%	39.2%	92.4%	59.7%	33.8%	93.5%	44.9%	48.7%	93.6%	93.2%	88.7%
3	先生は、学習や生活で自分が頑張ったことをほめてくれる。	63.3%	26.6%	89.9%	67.5%	22.1%	89.6%	50.0%	34.6%	84.6%	88.0%	90.4%
4	先生(担任やほかの先生)に、気軽に相談できる。	53.2%	26.6%	79.7%	41.6%	32.5%	74.0%	26.9%	39.7%	66.7%	73.5%	78.7%
5	先生は約束したことを守ってくれる。	60.8%	35.4%	96.2%	67.5%	26.0%	93.5%	44.9%	39.7%	84.6%	91.5%	87.4%
6	いろいろな学校行事(遠足・運動会など)は楽しい。	93.7%	6.3%	100.0%	80.5%	11.7%	92%	74.4%	16.7%	91.0%	94.4%	96.7%
7	朝の読書や図書の時間で、本を読むことがすきになった。	45.6%	22.8%	68.4%	49.4%	26.0%	75.3%	50.0%	23.1%	73.1%	72.2%	79.5%
8	学校では、命の大切さや社会のルールについて学んでいる。	63.3%	27.8%	91.1%	67.5%	26.0%	93.5%	62.8%	29.5%	92.3%	92.3%	94.6%
9	人のいやがることを言ったり、したりしないように気を付けている。	70.9%	21.5%	92.4%	63.6%	24.7%	88.3%	64.1%	32.1%	96.2%	92.3%	93.7%
10	お家の人は、あなたの気持ちをよくわかってくれる。	67.1%	20.3%	87.3%	70.1%	18.2%	88.3%	67.9%	30.8%	98.7%	91.5%	92.9%
11	学校のことや、友達のことをよくお家の人と話している。	68.4%	20.3%	88.6%	57.1%	23.4%	80.5%	62.8%	23.1%	85.9%	85.0%	84.9%
12	先生・地域の人・子どもサポート隊の方々にあいさつをしている。	54.4%	29.1%	83.5%	44.2%	32.5%	76.6%	56.4%	35.9%	92.3%	84.2%	89.1%

(4) 児童アンケート結果をうけて

- ◎ 設問1「学校へ行くのが楽しい」、設問2「授業がわかりやすい」の数値は、学校として最重要と考えています。授業の数値が5ポイント近く上昇し、ともに90%を超えました。これからも、教員は授業準備を十分に行い授業を行ってまいりますので、児童には集中して1時間、1時間の授業を大切に受けて欲しいと思います。
- ◎ 設問3「先生はほめてくれる」、設問4「先生に気軽に相談できる」の肯定的回答は、学校としてもっと伸ばしていかなければならないと受け止めました。今後さらに意識を高めて児童と向き合っていきます。
- ◎ 設問6「学校行事は楽しい」の肯定的回答は、高い数値を維持しました。次年度は運動会を秋に実施予定です。設問7「本を読むことがすきになった」は、7ポイント下落しました。今年度は、授業や昼休みに座り心地よく読書してもらいたい思いから図書室の椅子を新調しました。図書委員会の児童も本に興味をもてるよう日々頑張っており活動してくれています。ぜひ、読書習慣を身に付けて欲しいです。
- ◎ 設問8「命の大切さや社会のルールの学び」、設問9「人のいやがることを言わない・しない」の肯定的回答が、前年比微減ですが高い数値を維持しました。特に設問9の高学年の数値が96.2%。素晴らしいことだと思います。一方、設問12「あいさつをしている」は、特に低・中学年の数値がもっと高くなって欲しいです。お家では家族と、校門や教室では先生と、下校時は地域の方々と「目を見て・笑顔で・元気よく！」あいさつしましょう。



(5) 保護者の記述式回答をうけて②『コロナ禍の連絡体制』

- ◎ 年度始めの臨時休校の連絡体制を想定しての設問でしたが、12月14～16日が臨時休校になり、この間の意見が多数寄せられました。疫学調査の経過や濃厚接触者について整理が必要に感じましたので冒頭の(1)にまとめました。あと、不安ゆえ感染者の学年だけでも知りたかったという意見がありましたが、個人情報保護を優先し情報提供は控えました。今後、感染者が出た場合、学校全体の臨時休校でなく学級や学年閉鎖になる方向です。

(1) アンケートへのご協力 ありがとうございます

- ◎ 今年度を大きく振り返りますと、4月5日の入学式は予定通りに実施できましたが、その後の緊急事態宣言の発出により、5月14日に分散登校が始まるまでの間は臨時休校となり、6月15日ようやく全校児童がそろった学校生活が始まりました。この間、教科書配付や担任・クラス発表、担任による家庭訪問や分散登校のお知らせ等、様々な連絡を、文書のポスティングやメール・ホームページで行いました。また、市教育委員会の通知により授業時間数確保のため今年度の運動会は中止、9月末日までは参観や校外学習等の行事も中止。キックベースや駅伝など地域主催の市の行事も同様に中止が決定され、児童には、特に6年生の子ども達には残念で寂しい思いをさせることとなりました。
- ◎ 授業時間数確保のため夏休みが短縮され、7月31日に1学期の終業式、8月17日に2学期の始業式を体育館にて短時間で実施しました。熱中症が心配で昼休みに運動場に出られず室内で過ごす日もある中、午後の授業も集中して受けていました。学校行事がなく授業だけの学校生活に物足りなさを感じているのかと思うことも、正直ありました。
- ◎ 感染が少し落ち着いてきた感もある10月から学校行事の実施が可能となりました。5年生の林間学舎、6年生の修学旅行は業者とも綿密に打ち合わせをして無事実施することができました。1・2年生は天王寺動物園、3・4年生は11月に長居公園に行くことができました。11月21日には感染対策を講じて創立50周年式典を開催、同じ日に地域行事の校庭キャンプを1日限定で実施していただきました。「藤田まつり」は、密を避けるため保護者や例年招待する園児にはご遠慮いただき開催しました。参観は、引き渡し訓練と併せてまず10月に実施し、11月は低・中・高と学年ごとに時間を分けて体育参観及び学校公開を行い、保護者が多数来校され教室での授業も参観いただけました。
- ◎ 12月に入り10日からは個人懇談を実施、そんな中12日土曜日の朝、児童の感染が判り、月曜日まで臨時休校となりました。保健所の疫学調査で濃厚接触者等が特定され、検査の結果、新たな児童の感染が判り、再度疫学調査をすることとなりました。一次疫学調査は、土日であったこともあり丸2日、日曜日の夜遅くまでかかりました。学校は保健所からの連絡をまだかまだかと待ち続け、保護者にも長時間に渡り不安な思いで学校からの連絡をお待ちいただくことになり、申し訳ない思いで一杯でした。ただ、市教育委員会の応援を得て、できるだけタイムリーかつ可能な範囲での情報提供をメール等で行いました。新たな感染者の判明で臨時休校が水曜日までとなり、月曜日に行われた二次疫学調査は一次の時とは違い、大変スムーズに保健所や検査病院から連絡が入り、一般接触者として検査対象となった児童や職員的全員陰性がその日の夜7時頃には判り、木曜日からの学校再開の連絡をするに至りました。今回学んだことは、マスクを外した状態で近い距離にいた者が濃厚接触者となり、学校生活の場合、給食時がこれに当たりました。ただ、全員が同じ方向を向いて静かに給食の時間を過ごしていたので、その教室での新たな感染者はゼロでした。日々の感染防止対策の徹底、マスク着用の徹底は今後も続けていくことが肝要です。2学期末には下校時間帯に近隣で火災が発生。あまりにも近くて慌てながら児童の下校の安全確保と保護者へのメールを行いました。
- ◎ 冬休みも例年より短く、1月5日に3学期の始業式を迎えました。12月25日の2学期終業式同様、リモート集会の形式で実施し、児童は各教室の自席で私の話を聞いてもらいました。寒波襲来で、池の水が凍ったり運動場にうっすら雪が積もったりですが、児童は元気に活動しています。13日には、恒例の「なわとび集会」を行いました。
- ◎ 感染者が増加する中、1月12日には大阪府にも2度目の緊急事態宣言が発令されました。ただ、今回は「学びの保障」と「感染対策」のバランスを保ちながら学校での教育活動を続けていくとし、臨時休校や分散登校は実施しない旨の文部科学省の方針が、市教育委員会から通知されました。他府県への校外学習は延期又は中止としていますが、これまでの留意点と大きく変わるものではありません。運動している時を除いてマスクを必ず着用し、手洗い(学校ではアルコール等手指用消毒液は、流水での手洗いができない際に補助的に使用することとなっています)、人と人との距離の確保を徹底して、コロナ禍での教育活動を続けていきます。3学期も残り約2カ月、どうぞよろしくお願いいたします。



保護者アンケート結果 (225名の回答)

		A	B	C	D	今年度の肯定的回答 (A+B)	前年度の肯定的回答	前々年度の肯定的回答
		よくあてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない			
1	学校は、学校だよりや懇談会を通じて、教育方針や子ども達の様子を分かり易く伝えている。	41.3%	55.6%	3.1%	0.0%	96.9%	94.4%	96.0%
2	学校は、他校にない、独自の教育活動を行っている。	8.4%	60.0%	26.2%	4.4%	68.4%	62.7%	52.9%
3	学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている。	17.3%	71.1%	8.4%	1.8%	88.4%	80.7%	81.4%
4	学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。	44.4%	47.6%	7.1%	0.4%	92.0%	90.1%	89.3%
5	学習の内容等を、懇談や学年通信などによって知ることができる。	40.0%	51.6%	7.1%	0.9%	91.6%	91.8%	89.3%
6	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	56.9%	36.4%	4.4%	1.8%	93.3%	89.7%	90.1%
7	先生は、楽しい授業・わかりやすい授業をしようと工夫している。	46.2%	46.2%	5.3%	1.8%	92.4%	92.3%	94.5%
8	少人数指導は、子どものペースにあっているようだ。	48.0%	43.1%	3.1%	2.2%	91.1%	91.8%	92.1%
9	子どもは、少人数による指導により、学習意欲が向上したようだ。	34.7%	46.2%	12.9%	2.2%	80.9%	78.1%	81.4%
10	子どもは、少人数による指導について、丁寧な指導によりわかりやすいと言っている。	40.9%	42.7%	10.2%	2.7%	83.6%	81.5%	81.5%
11	先生は、子どもの能力や努力を適切に評価している。	44.0%	48.0%	6.7%	0.9%	92.0%	91.0%	94.5%
12	学校は、子どものことについての相談に応じてくれる。	42.7%	48.9%	7.6%	0.4%	91.6%	92.7%	92.0%
13	先生は、子どものことをよく理解してくれている。	44.9%	44.9%	7.6%	2.2%	89.8%	88.8%	95.9%
14	先生は、子どもの間違った行動には適切な指導をしてくれる。	43.1%	47.6%	6.2%	2.2%	90.7%	91.0%	92.9%
15	学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	32.4%	53.3%	10.7%	1.8%	85.8%	90.6%	88.5%
16	学校は、運動会や児童会活動を通じて、子ども達が主体的に活動できるように工夫している。	37.3%	56.0%	4.4%	1.8%	93.3%	92.7%	92.9%
17	学校は、地震や台風など緊急の場合の対応について、適切な対応をしている。	49.8%	47.6%	1.8%	0.0%	97.3%	93.6%	90.6%
18	学校は、事故防止・安全確保のため、施設・設備の点検等、学習環境面に配慮している。	32.4%	58.7%	7.1%	0.9%	91.1%	89.7%	75.9%
19	学校は、教育に必要な費用についてわかりやすく説明している。	42.2%	52.0%	5.3%	0.4%	94.2%	93.6%	89.8%
20	学校では、PTA活動が活発である。	24.0%	56.0%	17.8%	2.2%	80.0%	81.5%	81.0%

本校の主な教育課題 … 基礎学力:35.1%、基本的生活態度:22.7%、心の教育:20.1%、体づくり:11.7%、児童の主体性:10.1%、その他:0.3%

前年度… 36.4% 17.5% 18.0% 11.4% 14.5% 2.2%

(2) 保護者アンケート結果をうけて

◎ 20の設問のうち、13項目で90%以上の肯定的回答をいただきました。中でも、設問17「緊急な場合の対応」は、肯定的回答97.3%でした。今年度当初より、経験したことのない事態が続き、ミマモルメ(メール配信)による保護者連絡をする機会が多く、12月の臨時休校や近隣火災の際にもできるだけ早く情報提供することに努めてきました。また、ミマモルメに加入されていない保護者へPTA役員のご協力をいただきラインでも補完的に情報発信し、ホームページにも掲載して漏れのないようにしました。今後も、緊急時等には速やかな情報発信に努めていきます。ミマモルメ未加入のご家庭は、ぜひともご加入よろしくお願ひします。

◎ 設問1「学校だより等で子ども達の様子をわかり易く伝えている」にも、96.9%の肯定的回答をいただきました。校長として、毎月の「藤田小だより」に加え、ホームページでも写真を掲載して日々の学校の様子を伝えてきました。特に、参観ができなかった期間はほぼ毎日更新し、ご覧いただく保護者も増えてきて励みになりました。入学して間もない1年生の様子は、学校再開後、優先して学校だよりやホームページで紹介するようにしました。また、5・6年の宿泊行事の際は、教頭と連携し可能な限りタイムリーに現地の様子を写真にて紹介しました。保護者の方々の安心に繋がっていれば嬉しく思います。



◎ 設問6「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」の肯定的回答が、93.3%と前年比約4ポイント上昇し9割を超えましたが、児童の回答は91%に留まっていて、今年度の状況からはやむを得ない面もありますが、児童・保護者の声を大切にして、もっともっと高い数値を目指していきたいと思っています。

◎ 設問3「学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている」の肯定的回答が昨年の80%から88%に上昇しましたが90%に届かず、また、設問13「先生は、子どもの事をよく理解してくれている」が微増するも90%に届きませんでした。肯定的回答が増えるよう、児童一人ひとりを大切に思い、理解する気持ちをさらに持って児童に接するとともに保護者の願いや思いを大切に、学校運営をおこなっていきます。

◎ 設問15「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」の肯定的回答が昨年の90%から85%になり、設問14「子どもの間違った行動には適切に指導している」や、設問12「子どものことについての相談に応じる」も90%を超えているもののやや減少しています。これまで丁寧な指導を心がけてきましたが、その姿勢をさらに高めていきます。特に、いじめに対しては、引き続き、組織的に広く認知し、「機を逃さぬ指導」、「継続的見守り」を経て「いじめ解消」につなげるとともに、さらにアンテナを高くして担任等個人でなく組織で対応していきます。

◎ 設問7「先生は、楽しい授業・わかりやすい授業をしようと工夫している」の肯定的回答が、9割を超えてはいるものの微増にとどまり、設問8~10の少人数指導に関する設問に対する回答も、まだまだ伸びる余地があると思います。今年度、藤田小学校には、3・4年生担当と5・6年生担当、2人の算数少人数担当の「加配教員(※)」の配置があり指導する中、放課後算数教室も含めて精力的に児童が学習に取り組む様子は見受けられますが、今後も児童の実態に応じた指導を行い、設問11の「子どもの能力や努力を適切に評価」することを心がけて、さらなる学力・学習意欲の向上を目指します。※「加配教員」:「義務教育標準法に基づく教員定数に上乗せして配置される教員」

◎ 設問18「学習環境面の配慮」は、昨年度に引き続き、創立50周年を意識して市教育委員会とも密に連携して取り組み、今年度9割の肯定的回答をいただきました。今後も校内美化、安心安全な学校づくりに努めます。

◎ 設問20「PTA活動が活発である」の肯定的回答は、活動自粛期間もあるコロナ禍、昨年比微減ですが、あいさつ運動や体育館の清掃活動、創立五十周年式典の準備・当日のお手伝い等、ありがとうございました。

(3) 保護者の記述式回答をうけて①『体育参観・宿泊行事』

◎ たくさんのご意見ありがとうございました。体育参観や宿泊行事については、肯定的なご意見に元気づけられました。ただ、体育参観の日程は早い段階でお知らせしていたつもりでしたが、“連絡が直近で参加できず…”という意見があり、周知の徹底が難しいと感じました。また、十分な練習時間が確保できず、特に高学年の保護者には十分満足いただける内容ではなかったように感じる意見もありました。この点はどうかお許しください。

◎ 宿泊行事は、不安だったとの意見もありました。早く安心して行ける時が来て欲しいとつくづく思います。